

# ましゅまるみたいな ましゅま子。

azu feeling

それはある日突然訪れた。我が家に真っ白な子犬がやって来た。  
動物が苦手な母の影響で、人生で一度も、ましてやかなり手がかかるとされる“犬”を  
自分の生活に迎えるなんて想像もしていなかった。



縁があって、初めてこの白い塊を抱っこしたとき、私はその場で泣いてしまった。ふわふわで、焼きたてのクッキーの香りがした。そのふわふわに顔を埋めて、これから一緒に過ごす未来を想像した。きっと子犬を育てるのは大変なんだろう。けれどそんなことよりこの子と一緒に過ごしたいという気持ちが勝ってしまった。

あれよあれよと言う間に、私の部屋には子犬専用のスペースが作られ、ギターとピアノは隣の部屋へ移された。自分で自分に驚いた。朝起きてから寝るまで、自分のペースで物事が進められなければ嫌で、部屋の匂いや音に敏感で神経質な私が。

3時間ごとに起き、子犬に排泄トレーニングをして、朝6時半には起きてドッグフードをふやかしている。ありとあらゆる参考書を読み漁って、この子について一から勉強した。

我が家に来て一週間くらいたった日、名前を呼ぶと振り向くようになった。「おいで」と言うと膝の上に飛び乗ってくる。その時のジャンプの仕方が、なんてゆうか(笑)

本人はすごいジャンプをしてるつもりなんだろうけれど、私からしたらチョコン。みたいな。可笑しくて仕方なくて、私は部屋の隅で吹き出してしまった。

私はこの子に出会う少し前、私生活でどうしようもなく落ち込みが続いていて絶望していた。

思えば今まで、自分の思い通りにならないことや、神経質になりすぎるあまり、自分も他人も許すことができずに苦しんできたかもしれない。

子犬は全く思い通りにならない。今朝も雑巾を持って追いかけて回している間にせっかく入れたコーヒーは冷めきっていた。けれど私は「ま、いっか」と冷たいミルクを半分足してアイスカフェオレを楽しんだ。少しずつ、私の日常が変わり始めている、気がする。

わんこ初心者の飼い主奮闘記、これから、お楽しみいただければと思います。そうそう、この子の名前ですが、わたあめ、モコモコ、ふわふわ…いろいろ考えた結果、「ましゅまる」に決定！

ましゅまる、君を迎えに行った帰り道に見た大きな虹を忘れないよ。これからよろしくね。



azu feeling … 1989年生まれ、長野県出身。両親の影響で幼少期より洋楽を聴き、ピアノやドラムなど楽器に触れる。15歳でボーカルに転身。自ら作詞作曲を手がける。2016年、映画の主題歌を含むファーストアルバムでメジャーデビュー(AZUSA WATARI名義)。2018年、単身渡欧。語学を学びながら各地のアーティストとの交流を通じ制作活動に邁進。2019年秋、アーティストネームを渡梓(AZUSA WATARI)からazu feelingに改名。現在も長野県を拠点に国内外で活動中。  
web … <http://www.azusawatari.com> azu feeling 楽曲 … <https://music.apple.com/jp/artist/azu feeling/1484307116>